

新旧対照表

改 訂 後	改 訂 前
<p>各種様式</p> <p>提出書類の様式については、この様式集によるものとするが、記載内容が網羅されている場合は任意の様式を使用することができる。ただし、福島市水道局の規程・要綱等に定められている様式については、定められた様式を使用するものとする。</p> <p>○印のある様式については、受注者の押印を不要とする。「印」等の記載がある様式において、押印しない場合は「印」等の記載、押印欄を削除すること。ただし、未削除であっても受理する。</p> <p>なお、文書の改ざん防止・真正性確保のための押印は任意とし、押印しないことを強制するものではない。</p> <p>また、福島市水道局に定めのない様式については、福島市、福島県、国土交通省様式での提出を可とする。</p> <p>なお、福島市・福島県・国土交通省の様式で提出する場合は、あて先等を福島市水道局仕様に修正すること。</p> <p>各種様式における年月日については、和暦表記とする。</p>	<p>(新設)</p>

提出書類 一覧

様式	約款	提出書類(様式名)	提出先	提出時期	関係条文
1	3条	工事費内訳書	契約担当課	契約締結後 14 日以内	
2	3条	工事工程表	契約担当課	契約締結後 14 日以内	
	4条	保証証書(履行保証)	契約担当課	履行保証保険契約締結後直ちに	
	7条	下請負関係者一覧表	監督員	下請工事契約締結後	元 11 条
	7条	下請工事契約時チェックリスト	監督員	下請工事契約締結後	元 11 条
	7条	下請負報告書	監督員	竣工検査合格後 2 ヶ月以内	元 12 条
	7条	下請工事完了後チェックリスト	監督員	竣工検査合格後 2 ヶ月以内	元 12 条
	7条	理由書	監督員	下請負人として選定しようとする時	元 4 条
	7条	施工体制台帳	監督員	下請工事契約締結後	元 11 条
	7条	下請負人に関する事項	監督員	下請工事契約締結後	元 11 条
	7条	施工体系図	監督員	下請工事契約締結後	元 11 条
	7条	工事担当技術者台帳	監督員	下請工事契約締結後	元 11 条
	7条	再下請負通知書	監督員	下請工事契約締結後	元 13 条
3		建設業退職金共済組合掛金収納書	契約担当課	契約締結後 1 ヶ月以内	仕 1-1-49
4	9条	監督員通知書	—	—	
	9条	工事打合せ簿	監督員、受注者	指示、承諾、協議等その都度	監 4 条の 2
	9条	工事確認書	監督員	その都度	監 9 条
5	10条	現場代理人及び主任技術者等通知書	契約担当課	工事着手の前日まで	
6	10条	経歴書	契約担当課	工事着手の前日まで	
7	10条	実務経験に基づく主任技術者資格証明書	契約担当課	工事着手の前日まで	
8		現場代理人兼任届	契約担当課	工事着手の前日まで	
9	11条	工事履行報告書	監督員	契約図書記載時期又は請求後直ちに	
	13条	工事材料検査申請書	監督員	使用前	監 10 条
10	14条	工事写真	監督員	請求後 7 日以内	
	15条	貸与品借用書	監督員	備品貸与を受ける時	監 21 条
	15条	支給品受領書	監督員	材料支給を受ける時	監 21 条
	15条	支給品清算書	監督員	支給材料の精算をする時	監 21 条
	15条	貸与品返納書	監督員	備品の返還をする時	監 21 条
11	20条	工事の一時(一部)中止			

提出書類関係一覧

様式	約款	提出書類(様式名)	提出先	提出時期	提出部数
1		着工届	監督員	契約締結後 5 日以内	1
2	4条	工事工程表	契約担当課	契約締結後 14 日以内	1
3	7条	下請通知書	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
3-1-1~3-1-2	7条	下請工事契約時チェックリスト	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
3-2	7条	元請・下請関係者一覧表	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
3-3	7条	下請報告書	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
3-3-1	7条	下請工事完了時チェックリスト	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
4-1	10条	監督員通知書	—	—	—
4-2	10条	監督員変更通知書	—	—	—
5		工事打合せ簿	監督員	そのつど	正 1、写 1
7-1	11条	現場代理人、主任技術者等通知書	契約担当課	工事着手の前日まで	正 1、写 1
7-2	11条	経歴書	契約担当課	工事着手の前日まで	正 1、写 1
8		施工計画書(工事打合せ添付)	監督員	工事着工前	正 1、写 1
10	13条	工事材料検査書(工事打合せ添付)	監督員	検査を受けようとする時	1
	14条	工事材料試験証明書届(工事打合せ添付)	監督員	そのつど	1
11		確認書	監督員	そのつど	1
12	19条	工事延期申請書	監督員	工期の延長を求める時	1
13	27条	工事完成届	監督員	工事完成後延滞なく	1
14	27条	工事目的物引渡書	監督員	竣工検査合格後速やかに	1
15	28条	請求書(部分払い、完成)	監督員	竣工検査合格後	1
16	30条	前金払請求書	監督員	保証契約締結後	1
	30条	前金払保証書	監督員	保証契約締結後	1
17	33条	部分払請求書	監督員	出来高検査を受けようとする時	1
		建設業退職金共済金収納書	契約担当課	契約締結後速やかに	1
18-1~18-3		工事週報	監督員	1 週間毎	1
19		現場発生品調書	監督員	現場発生品が生じた時	1
	14条	工事写真	監督員	工事完成後延滞なく	1

12	22条	工期延期申請書	監督員	工期延長を請求する時	
	28・29条	事故等発生報告書	監督員	発生したとき直ちに	監18条
	28・29条	事故等報告書	水道総務課長	速やかに	監18条
	32条	工事完成届	監督員	工事完成後延滞なく	監20条
	32条	工事目的物引渡書	監督員	竣工又は一部竣工検査合格後	監20条の5
	33条	請求書	監督員	竣工検査合格後	
13	35条	前金払請求書	監督員	前金払いを請求する時	
	35条	保証証書(前金払)	監督員	前金払いを請求する時	
	38条	既済部分検査請求書	監督員	部分払いを請求する時	監19条
15		建設リサイクル法第12条説明書	契約担当課	契約締結後14日以内	リ12条
16		建設リサイクル法第13条に基づく書面	契約担当課	契約締結後14日以内	リ13条

※関係条文欄

元：福島市水道局元請・下請関係適正化指導要綱

監：福島市水道局請負工事監督規程

リ：建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律

仕：福島市水道局水道工事共通仕様書

県仕：福島県共通仕様書

(委託関係様式削除)

その他提出書類一覧表

様式	提出書類(様式名)	関係条文	摘要
14	着工届	仕104条	
	施工計画書	仕107条	
17	工事週報	仕109条	
	現場発生品調書	監14条の2	
18	社内検査記録	仕119条	
19	配管工届	仕402条	

		社内検査記録	監督員	中間・完了の社内検査後	1
39-1~ 39-2	7条	施工体制台帳	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
40	7条	下請け人に関する事項	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
41	7条	理由書	監督員	社会保険未加入業者と締結した時	1
42	7条	工事担当技術者台帳	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
43	7条	工事作業所災害防止協議会兼施工体系図	監督員	下請け人に施工させようとする時	1
44-1~ 44-3	7条	再下請負通知書	監督員	再下請け人に施工させようとする時	1
44-4		電子媒体等のラベル表記	監督員	竣工検査合格後速やかに	電子データ CD2枚 竣工図 A3(紙)2部
		(委託関係)			
28		着工届	監督員	契約締結後5日以内	1
29	10条	監督員通知書	—	—	—
30	10条	監督員変更通知書	—	—	—
32-1		委託打合せ簿	監督員	そのつど	正1、写1
32-2		確認書	監督員	そのつど	1
33	11条	現場代理人及び主任技術者等通知	契約担当課	工事着手の前日まで	正1、写1
34	11条	現場代理人及び主任技術者等通知	契約担当課	変更の前日まで	正1、写1
36	19条	委託延期申請書	監督員	工期の延長を求めるとき	1
37	27条	委託完成届	監督員	委託完成後延滞なく	1
38		委託日報	監督員	委託中毎日	1

その他提出書類一覧表

項目	様式	提出書類(様式名)	関係条文	摘要
配管工	20	配管工届	仕407条	(工事打合せ添付)
	21-1 ~ 21-13	継手チェックシート	仕419条~ 仕425条	ダクタイル鑄鉄管口径400mm以上(NS形、GX形は全口径提出)
	22	水圧試験報告書	仕437条	(工事打合せ添付)
	23	水質試験報告書	仕503条	(工事打合せ添付)
		溶接工届	仕426条	鋼管の溶接(工事打合せ添付)
		X線透過試験成績表	仕438条	(工事打合せ添付)

20~26	継手チェックシート	仕 423 条～ 仕 427 条	ダクタイル鋳鉄管口径 400 mm 以上 (NS 形、GX 形は全口径提出)			超音波試験記録	仕 439 条	(工事打合せ添付)		
27	継手チェックシート (EF 接合)					水槽構造物	25	漏水試験報告書	仕 501 条	(工事打合せ添付)
28	水圧試験報告書	仕 444 条					26	消毒経過報告書	仕 503 条	(工事打合せ添付)
29	水質試験報告書	仕 507 条				埋戻工	県 48	骨材試験成績一覧表		保護砂、埋戻用碎石
	溶接工届	仕 430 条	配管工届 (様式 18) に準ずる			路盤工	県 48	骨材試験成績一覧表		路盤材
	X線透過試験成績表	仕 445 条	任意の様式				県 69, 70	修正 CBR 試験		埋戻用碎石、路盤材
	超音波試験記録	仕 446 条	任意の様式				県 67	現場密度測定試験		上層路盤工
30	漏水試験報告書	仕 506 条				舗装工	県 48	骨材試験成績一覧表	仕 217 条	アスファルト舗装用骨材
31	消毒経過報告書	仕 507 条					県 74	アスファルト抽出試験		瀝青材料の品質証明書
県 33	レミキストコンクリート配合計画書						県 75	アスファルト混合物密度試験		〃
県 34	粗骨材の比重吸水単位容積重量試験						県 80	マニヤル試験結果表		
県 35	細骨材の比重吸水単位容積重量試験						県 81	混合物の理論最大密度		
県 36	骨材のふるい分け試験						県 82	設計アスファルト量の決定		
県 37・38	細骨材の表面水量試験						県 72	アスファルト合材検温		
県 39	スランプ空気量試験						県 73	舗設時検温		舗装施工時
県 40	コンクリート圧縮強度試験						県 76	コア採取試験結果表	仕 112 条	
県 41	テストハンマーによる強度試験						県 96	道路舗装カード		国、県道の復旧
県 42	コンクリート曲げ強度試験					産業廃棄物	27	建設産業廃棄物処分結果報告書		
県 43	骨材洗い試験					無筋・鉄筋コンクリート工	県 33	レミキストコンクリート配合報告書		
県 44	粗骨材のスリハリ試験						県 48	骨材試験成績一覧表	仕 216 条	セメントコンクリート用骨材
県 45	粗骨材中の軟石量試験						県 49	セメントコンクリート配合計算書		
県 46	骨材単位容積重量試験						県 39	スランプ空気量試験		
県 47	骨材の安定性試験						県 40	コンクリート圧縮強度試験		
県 48	骨材試験成績一覧表						県 41	テストハンマーによる強度試験	仕 120 条	
県 49	セメントコンクリート配合設計計算書					塗 装 工	県 95	塗装圧測定結果記録表		
県 50	セメントコンクリート試験配合計算書					薬液注入工	県 97	薬液注入日報	仕 450 条	推進工法等
県 51	出来形管理図表 (表紙)	仕 1-1-30					県 98	水質監視記録簿	仕 451 条	〃
県 52	出来形管理図表 (図表)	仕 1-1-30					県 99	水質監視日報	仕 451 条	〃
県 53	品質管理図 (表紙)	仕 1-1-30				出来高管理	県 51	出来高管理図表 (表紙)	仕 112 条	土工、舗装、構造物
県 54	ヒストグラム	仕 1-1-30					県 52	出来高管理図表 (図表)	仕 112 条	
県 56	度数表	仕 1-1-30				品質管理	県 53	品質管理図表 (表紙)	仕 112 条	コンクリート、土、アスファルト舗装
県 57・58	X-R 管理データシート	仕 1-1-30					県 54	ヒストグラム	仕 112 条	
県 59	X-R 管理図	仕 1-1-30					県 56	度数表	仕 112 条	
県 60	X 管理図	仕 1-1-30					県 57, 58	X-R 管理データシート	仕 112 条	
県 61・62	X-Rs-Rm 管理データシート	仕 1-1-30					県 59	X-R 管理図	仕 112 条	

県 63	X-Rs-Rm 管理図	仕 1-1-30	
県 65-1	土の液性限界		測定、試験結果
65-2	土の塑性限界試験		
県 66	土の含水比試験		
県 66-1	土の突固め試験		測定、締固め特性
66-2			
県 67	現場密度測定試験		置換法
県 68	現場における土の単位体積重量試験		
県 69-1	CBR 試験		初期状態吸水膨張試験
県 69-2	CBR 試験		貫入試験、室内試験結果
69-3			
県 69-4	現場 CBR 試験		
県 70	乱した材料の修正 CBR 試験		
県 71	道路の平板載荷試験		
県 72	アスファルト合材検温		混合物の種類工種
県 73	舗設時検温		混合物の種類工種
県 74	アスファルト抽出試験		
県 75	アスファルト混合物の密度試験		
県 76	コア採取試験結果表		
県 77	予定粒度		
県 78	使用予定骨材の配合百分率決定図		
県 79	使用予定骨材の合成粒度		
県 80	マーシャル試験結果		
県 81	混合物の理論最大密度		
県 82	設計アスファルト量の決定		
県 83	ホットビン内のフルイ分け試験		
県 95	塗膜厚測定結果記録表		
県 96	道路舗装カード		国、県道の復旧
	建設産業廃棄物処分結果報告書	監 17 条	
県 97	薬液注入日報	仕 4-11-5	
県 98	水質監視記録簿	仕 4-11-6	
県 99	水質監視日報	仕 4-11-6	

	県 60	X管理図	仕 112 条	
	県 61, 62	X-Rs-Rm 管理シート	仕 112 条	
	県 63	X-Rs-Rm 管理図	仕 112 条	

※ 様式の欄の県は、福島県土木部監修「共通仕様書（土木工事編Ⅲ）」を参照。

※様式の欄の県は、福島県共通仕様書（土木工事編Ⅲ）を参照。

※関係条文欄

仕：福島市水道局水道工事共通仕様書

監：福島市水道局請負工事監督規程

工事費内訳書

件名

住所

商号又は名称

代表者職氏名

工種・種別等	金額(円)	備考
①直接工事費		
工		
工		
工		
工		
工		
工		
工		
工		
①計		
②共通仮設費		
②計		
③現場管理費		
③計		
④一般管理費		
④計		
工事費計(①+②+③+④)		

(工事費のうち、現場労働者に関する健康保険、
厚生年金保険及び雇用保険の法定の事業主負担額 円)

建設業退職金共済組合
掛金収納書（提出用）

添 付 箇 所

年 月 日

受注者 住 所
氏 名

第 号
年 月 日

受注者

様

福島市水道事業管理者

監督員通知書

年 月 日付けをもって請負契約を締結した次の工事について、福島市水道局工事請負契約約款第9条第1項の規定に基づき、下記のとおり監督員を通知します。

契約番号 第 号

工事名

工事場所

記

監督員（職氏名）

様式 4-1
第 号
年 月 日

受注者

様

福島市水道事業管理者

監督員通知書

年 月 日付けをもって請負契約を締結した次の工事について、福島市水道局工事請負契約約款第10条第1項の規定に基づき、下記のとおり監督員を通知します。

契約第 号

工事名 _____

工事場所 _____

記

監督員（職氏名） _____

当初 変更

現場代理人及び主任技術者等通知書

年 月 日契約を締結した、工事(工期 年 月 日～ 年 月 日)について、福島市水道局工事請負契約第10条の規定に基づき、本件工事の現場代理人及び主任技術者等(主任技術者又は監理技術者及び監理技術者補佐)を下記のとおり定めたので、別添経歴書を添えて通知します。

福島市水道事業管理者
様
年 月 日

受注者 住所
氏 名

1 現場代理人(通知日現在、下記工事を除き、他の工事において現場代理人・主任技術者等でないことを報告します。)

氏 名	権 限				
(年 月 日生)	1 約款第10条第2項に規定する権限のすべて 2 上記のうち 除く。				
年 月 日現在、今回契約を締結した工事の工期において、現場代理人・主任技術者等になっている他の工事(福島市水道局発注以外の公共工事、民間工事を含む)は次のとおりです。					
発注者	工事番号	工期	請負額	現場代理人等	常駐義務緩和

- (注) 1 該当する事項の番号を○で囲むこと。
2 氏名は現場代理人となる者が自署すること。
3 建設業法上の営業所の専任技術者である者は現場代理人にはなれない。
4 現場代理人の常駐義務の緩和を承認された場合を除き、現場代理人は工事現場に常駐する必要がある。(他の工事において現場代理人である者、主任技術者等である者は、当該工事の現場代理人にれない場合がある。)
5 上記に記載した「他の工事」が福島市水道局発注工事の場合は、この通知書の写しを監督員へ提出すること。

2 主任技術者又は監理技術者及び監理技術者補佐

施工形態	技術者					
	区分	氏 名	役職	資格の名称		
1 すべて自社施工する。	主任技術者	(年 月 日生)				
2 一部下請施工する。	区分	氏 名	役職	資格の名称	資格者証番号	
下請金額区分	i 下請総額4,500万円未満	主任技術者	(年 月 日生)		-	
		監理技術者	(年 月 日生)			
	ii 下請総額4,500万円以上	主任技術者	(年 月 日生)			
		監理技術者補佐	(年 月 日生)			-

- (注) 1 「施工形態」の欄は、該当する事項の番号を○で囲むこと。
2 下請総額4,500万円は、建築一式工事の場合は、7,000万円となる。
3 監理技術者資格者証の交付を受けている技術者は、その写し(表、裏とも)を添付すること。
4 記載事項に変更が生じた場合には、速やかに再提出すること。(上欄の変更を○で囲むこと。)
5 建設業法上の営業所の専任技術者である者は専任の主任技術者等にはなれない。
6 請負金額が4,000万円(建築一式工事にあつては8,000万円)以上の工事における主任技術者等は、工事現場ごとに専任の者であること。(この場合、他の工事において現場代理人である者、主任技術者等である者は、当該工事の主任技術者等にはなれない。)

《監督員確認欄》

職 氏名	職 氏名
現場代理人常駐義務発生日(現場着手日) 年 月 日	主任技術者等の専任義務発生日(工事着手日) 年 月 日

※以下は請負金額が500万円以上の場合、施工体制点検によるため記入不要。

職 氏名	職 氏名		
確認月日	確認結果	確認月日	確認結果
	現場確認の結果、上記記載事項に相違 1 ない 2 ある		現場確認の結果、上記記載事項に相違 1 ない 2 ある

様式7-1

当初 変更

現場代理人及び主任技術者等通知書

年 月 日契約を締結した、工事(工期 年 月 日～ 年 月 日)について、福島市水道局工事請負契約第11条の規定に基づき、本件工事の現場代理人及び主任技術者等(主任技術者又は監理技術者)を下記のとおり定めたので、別添経歴書を添えて通知します。

(契約者)
福島市水道事業管理者

年 月 日

受注者 住所
氏 名
記

1 現場代理人(通知日現在、下記工事を除き、他の工事において現場代理人・主任技術者等でないことを報告します。)

氏 名	権 限				
(年 月 日生)	1 約款第11条第2項に規定する権限のすべて 2 上記のうち を除く。				
年 月 日現在、今回契約を締結した工事の工期において、現場代理人・主任技術者等になっている他の工事(福島市水道局発注以外の公共工事、民間工事を含む)は次のとおりです。					
発注者	工事番号	工期	請負額	現場代理人等	常駐義務緩和

- (注) 1 該当する事項の番号を○で囲むこと。
2 氏名は現場代理人となる者が自署すること。
3 建設業法上の営業所の専任技術者である者は現場代理人にはなれない。
4 現場代理人の常駐義務の緩和を承認された場合を除き、現場代理人は工事現場に常駐する必要がある。(他の工事において現場代理人である者、主任技術者等である者は、当該工事の現場代理人にれない場合がある。)
5 上記に記載した「他の工事」が福島市水道局発注工事の場合は、この通知書の写しを監督員へ提出すること。

2 主任技術者又は監理技術者

施工形態	主任技術者				監理技術者			
	氏 名	役職	資格の名称	氏 名	役職	資格の名称	資格者証番号	
1 すべて自社施工する。								
2 一部下請施工する。 i 下請総額4,000万円未満								
ii 下請総額4,000万円以上								

- (注) 1 「施工形態」の欄は、該当する事項の番号を○で囲むこと。
2 下請総額4,000万円は、建築一式工事の場合は、6,000万円となる。
3 監理技術者資格者証の交付を受けている技術者は、その写し(表、裏とも)を添付すること。
4 記載事項に変更が生じた場合には、速やかに再提出すること。(上欄の変更を○で囲むこと。)
5 建設業法上の営業所の専任技術者である者は専任の主任技術者等にはなれない。
6 請負金額が5,000万円(建築一式工事にあつては7,000万円)以上の工事における主任技術者等は、工事現場ごとに専任の者であること。(この場合、他の工事において現場代理人である者、主任技術者等である者は、当該工事の主任技術者等にはなれない。)

《監督員確認欄》

職 氏名	職 氏名
現場代理人常駐義務発生日(現場着手日) 年 月 日	主任技術者等の専任義務発生日(工事着手日) 年 月 日

※以下は請負金額が500万円以上の場合、施工体制点検によるため記入不要。

職 氏名	職 氏名		
確認月日	確認結果	確認月日	確認結果
	現場確認の結果、上記記載事項に相違 1 ない 2 ある		現場確認の結果、上記記載事項に相違 1 ない 2 ある

経 歴 書

年 月 日

1. 本 籍 地 _____ 現場代理人氏名 _____

2. 現 住 所 _____ 主任技術者氏名 _____

3. 最 終 学 歴 _____ 生年月日 _____ 年 月 日

4. 資 格

_____	平成	昭和	年取得
_____	平成	昭和	年取得
_____	平成	昭和	年取得
_____	平成	昭和	年取得

5. 工事経歴 (過去2年間における主な工事)

工 事 名	完 成 年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日

受注者 _____

様式 7-2

経 歴 書

年 月 日

1. 本 籍 地 _____ 現場代理人氏名 _____

2. 現 住 所 _____ 主任技術者氏名 _____

3. 最 終 学 歴 _____ 生 年 月 日 _____ 年 月 日

4. 資 格

_____	平成	昭和	年 取得
_____	平成	昭和	年 取得
_____	平成	昭和	年 取得
_____	平成	昭和	年 取得

5. 工事経歴 (過去2年間における主な工事)

工 事 名	完 成 年 月 日

受注者 住 所 _____
氏 名 _____

実務経験に基づく主任技術者資格証明書

実務経験に基づく主任技術者としての資格要件について、下記のとおり相違ないことを証明いたします。

記

主任技術者氏名

指定学科卒業の場合

学校名

学科名

実務経験

会社名

年 月 日 入社

年 月 日 退社

実務経験年数 年 月

会社名

年 月 日 入社

年 月 日 退社

実務経験年数 年 月

通算実務経験年数 年 月

住 所
受注者
氏 名

※ 国家資格による場合は、合格証明書等の写しを提出してください。

別記様式

現場代理人兼任届

年 月 日

福島市水道事業管理者

住所又は所在地

受注者 氏名又は名称

及び代表者の氏名

次の工事について、現場代理人を兼任とするので届け出ます。
なお、工事の施工に当たり、関係法令等を遵守し安全管理及び工程管理に万全を期し、
万一、兼任が適当でない判断された場合は、兼任の解除を指示されても異議ありません。

現場代理人氏名			連絡先
兼任する工事1	契約番号	第	号
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額		
	工事担当課		
兼任する工事2	契約番号	第	号
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額		
	工事担当課		

様式-1

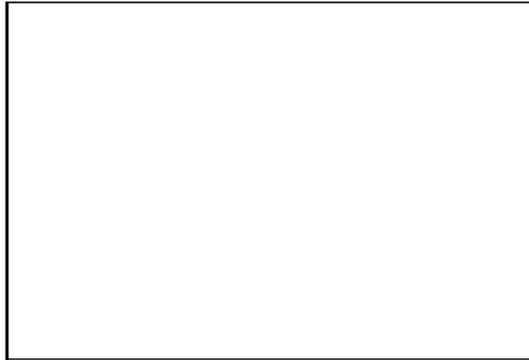
年度

工事写真

撮影者

契約番号	第 号
工事名	
工事場所	
受注者	
請負金額	うち取引に係る消費税 及び地方消費税の額

工事施工前

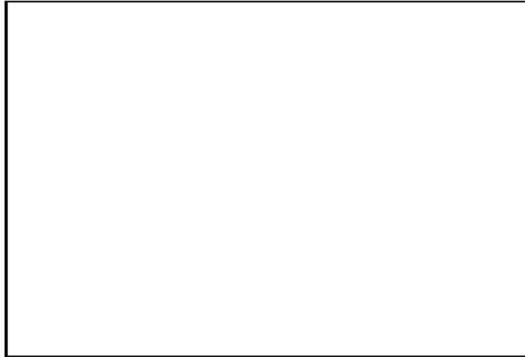


年月日	測点
工事概要	



年月日	測点
工事概要	

完成写真

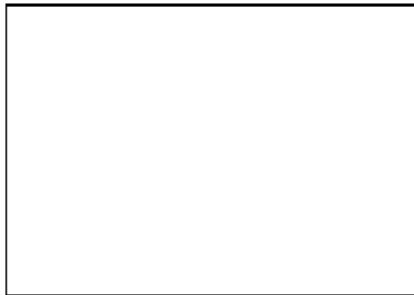


年月日	測点
工事概要	



年月日	測点
工事概要	

工 事 経 過



年 月 日

受注者 様

福島市水道事業管理者

工事の一時（一部）中止について

下記工事について、年 月 日から一時（一部）中止をして下さい。

記

工 事 名	第 号
工 事 場 所	
工 期	自 年 月 日 至 年 月 日
一時（一部） 中止をする 理 由	
中止解除予定	年 月 日

注）理由は具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること

年 月 日

受注者 様

福島市水道事業管理者

工事の一時（一部）中止の解除について

年 月 日から一時（一部）中止した下記工事については、中止を解除しますのですみやかに工事を始めて下さい。

記

工 事 名	第 号
工 事 場 所	
工 期	自 年 月 日 至 年 月 日
解 除 理 由	
そ の 他	

注) 理由は具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること

年 月 日

福島市水道事業管理者 様

住所
受注者
氏名



工期延期申請書

次の工事について、下記のとおり工期延期を申請します。

1. 工事名 第 号
2. 工事場所
3. 工期 自 年 月 日
至 年 月 日

記

1. 延長工期 年 月 日
2. 理由

注) 理由は具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること

様式 12
年 月 日

福島市水道事業管理者
様

住所
受注者
氏名



工期延期申請書

次の工事について、下記のとおり工期延期を申請します。

- 契約 第 号
1. 工事名
2. 工事場所
3. 工期 自 年 月 日
至 年 月 日

記

1. 延長年月日 年 月 日
2. 理由

注) 理由は、具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること。

前金払請求書

1. 契約番号	
2. 工事名	
3. 工事場所	
4. 工事金額	¥ <small>うち取引に係る消費税 及び地方消費税の額</small> ¥
5. 前金払請求額	¥
6. 工期	自 令和 年 月 日
	至 令和 年 月 日

上記工事の前金払を受けたいので、工事請負契約書に基づき請求いたします。

令和 年 月 日

受注者 住所
氏名

福島市水道事業管理者 様

局長	次長	課長	課長補佐	係長	係員

着 工 届

年 月 日	
福島市水道事業管理者 様	
住所 受注者 氏名	■
下記工事を着工したので、お届けいたします。	
契約番号	第 号
工 事 名	
請 負 金 額	うち取引に係る消費税 及び地方消費税の額
工 期	着工 年 月 日
	完成 年 月 日
着工年月日	年 月 日

様式-1

局長	次長	課長	課長補佐	係長	係員

着 工 届

年 月 日	
福島市水道事業管理者 様	
住所 受注者 氏名	■
下記工事を着工したので、お届けいたします。	
契約番号	契約第 号
工 事 名	
請 負 金 額	¥ _____ うち取引に係る消費税 及び地方消費税の額
工 期	着 工 年 月 日
	完 成 年 月 日
着工年月日	年 月 日

建設リサイクル法第12条説明書

年 月 日

福島市水道事業管理者
様

所在地
番号又は名称
代表者名

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条の規定により、対象建設工事の分別解体等の計画等について別添資料のとおり説明します。

記

1. 対象工事

契約番号

工事名

工事場所

2. 説明内容 添付資料のとおり

3. 添付資料

- 別表1（建築物に係る解体工事）
- 別表2（建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替））
- 別表3（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等））

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 ()	
工事の種類		<input type="checkbox"/> 新築工事 <input type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 ()	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材	
工作物の状況		築年数 年 その他 ()	
工作物に関する調査の結果		周辺にある施設 <input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他 () 敷地境界との最短距離 約 m その他 ()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	作業場所	工作物に関する調査の結果 作業場所 <input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他 ()	工事着手前に実施する措置の内容
	敷出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他 ()	
	特定建設資材への付着 (解体・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無 ()	
	特定建設資材への付着 (電気・水道・ガス・下水道・鉄道・電話工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有 () 特定建設資材への付着 (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) <input type="checkbox"/> 無 ()	
	その他		
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土木	土工 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他 () その他の場合の理由 ()	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み (解体工事のみ)		トン	
備考 (注) ①仮設 ②土木 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分 (注)
	<input type="checkbox"/> コンクリート塊	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
	<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥

□欄には、該当箇所「レ」を付すこと。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

建設リサイクル法第13条に基づく書面

契約番号

工事名

1 分別解体等の方法（工程ごとの作業内容及び解体方法）

※□欄には、該当箇所に「し」を付すこと。該当がない場合は記載の必要がない。

工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設 仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土木 土木工 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎 基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造 本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品 本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 その他の工事 () <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

2 解体工事に要する費用（直接工事費） _____ 円（税抜き）

注）分別解体及び積込みに要する費用（仮設費・運搬費及び仮置き費用は含まない。）

3 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建築資源廃棄物の種類	施設の名称	所在地

4 再資源化等に要する費用（直接工事費） _____ 円（税抜き）

※運搬費を含む

工 事 週 報

課 長	課長補佐	係 長	係 員	監 督 員

No. _____
 受注者 _____
 (現場代理人) _____

工事名					進 捗 率
					計 画 %
工事期間	年 月 日 ~		年 月 日		実 績 %
前 週			今 週		
月日 (曜日)	天気 気温 (℃)	工種・施工箇所・作業内容等		月日 (曜日)	工種・施工箇所 作業内容等
		計 画	実 施		
/				/	
()				()	
/				/	
()				()	
/				/	
()				()	
/				/	
()				()	
/				/	
()				()	
/				/	
()				()	
監督員記事					

様式18-1

工 事 週 報

課 長	課長補佐	係 長	係 員	監 督 員

No. _____
 受注者 _____
 (現場代理人) _____

工事名					進 捗 率
					計 画 %
工事期間	年 月 日 ~		年 月 日		実 績 %
月日 (曜日)	天気	気温 (℃)	工種・施工箇所・作業内容	打合せ事項・その他	
/					
()					
/					
()					
/					
()					
/					
()					
/					
()					

施工位置・施工詳細図

様式18-3

施工位置図 ・ 施工詳細図

	現場代理人	主任技術者

社内検査記録（中間・完了）

社内検査員

契約番号	第 号	工事名		
工事場所				
契約工期	自	年	月	日
	至	年	月	日
		請負金額		
工事内容				進捗率
				% (%) 検査時の 工事進捗率
監督員			現場代理人	

【 検査結果 】

検査月日 年 月 日

検査所見

年 月 日

福島市水道事業管理者 様

受注者 住所
氏名
(現場代理人)



配 管 工 届

下記の工事について、配管工として次の者を選任、常駐させますので承認願います。

記

第 号

1. 工 事 名
2. 着 工 年 月 日
3. 完 成 年 月 日
4. 氏 名

*本届けには必要に応じて経歴書、資格証明写し、写真を添付のこと。
*溶接工等特殊技能を有する者の届けも本届けに準ずる。

様式 20

年 月 日

福島市水道事業管理者

様

受注者 住所

氏 名
(現場代理人)



配 管 工 届

下記の工事について、配管工として次の者を選任、常駐させますので承認願います。

記

契約第 号

1. 工 事 名
2. 着 工 年 月 日
3. 完 成 年 月 日
4. 氏 名

*本届けには必要に応じて経歴書、資格証明写し、写真を添付のこと。

*溶接工等特殊技能を有する者の届けも本届けに準ずる。

No. _____

S II形継手 チェックシート

工事名		呼び径									
管種及び形状											
略 図											
継 手 軸											
清 掃											
清 剤											
止 め 金 具											
①ロックアップ 隙間	仮										
	完										
②ロックアップリ ングの位置	(1)										
	(2)										
③ボルト	数										
	kgf・m										
④受口端 面・白線 の位置	1										
	3										
	5										
⑤押輪・受 口隙間	7										
	1										
	3										
⑥ゴム輪の 出入り状態	5										
	7										
	1										
判 定											
備 考											
施 工 日		施工者				現場代理人					
年 月 日						点検者					

No. _____ 様式 21-3

S II形継手 チェックシート

工事名		呼び径									
管種及び形状											
略 図											
継 手 軸											
清 掃											
清 剤											
止 め 金 具											
①ロックアップ 隙間	仮										
	完										
②ロックアップリ ングの位置	(1)										
	(2)										
③ボルト	数										
	kgf・m										
④受口端 面・白線 の位置	上										
	右										
	下										
⑤押輪・受 口隙間	左										
	上										
	右										
⑥ゴム輪の 出入り状 態	下										
	左										
	上										
判 定											
備 考											
施 工 日		施工者				現場代理人					
年 月 日						点検者					

No. _____

NS形継手チェックシート(φ75~φ250)(直管・ライナ使用・異形管)									
工事名							呼び径		
管 No.									
管の種類									
略図/ライナ									
継手 No.									
清掃									
受口環(ロックリング)の確認									
受口端部~ゴム輪の最大寸法確認								① ⑥	
滑 剤									
受口端面 ~ ゴム輪間隔 (b)	全周チェック								
	①								
	②								
	③							②	
	④							③	
	⑤							④	
	⑥								
	⑦								
受口端面 ~ 白線間隔 (a)	①								
	③								
	⑤							①	
	⑦								
ライナ位置の確認(※1)								②	
マーキング(白線)位置の確認※2									
屈曲防止リングの確認※3								③ ⑥	
判 定								④	
備 考									
施 工 日		施工者		現場代理人					
年 月 日				点検者					
判定基準：受口端面~ゴム輪間隔(b) < 受口端面~ゴム輪の最大寸法(c) ※1 ライナが受口奥部に当たっている事を、4.5mmの隙間ゲージにて確認する。 ※2 接合直後に、現場で明示したマーキング(白線)上に、受口端面があるか確認する。 ※3 屈曲防止リングと押し口外面に薄板ゲージが入らないこと。									

No. _____

様式 21-4

NS形継手チェックシート(φ75~φ250) (直管・ライナ使用・異形管)									
工事名							呼び径		
管 No.									
管の種類									
略図/ライナ									
継手 No.									
清掃									
受口環(ロックリング)の確認									
受口端部~ゴム輪の最大寸法確認(C)								① ⑥	
滑 剤									
受口端面 ~ ゴム輪 間隔(b)	全周チェック								
	①								
	②								
	③								
	④							② ④	
	⑤							③	
	⑥								
	⑦								
受口端面 ~ 白線 間隔(a)	①								
	③								
	⑤							①	
	⑦								
ライナ位置の確認(※1)								②	
マーキング(白線)位置の確認※2								③ ⑥	
屈曲防止リングの確認※3								④	
判 定									
備 考									
施 工 日		施工者		現場代理人					
年 月 日				点検者					
判定基準：受口端面~ゴム輪間隔(b) < 受口端面~ゴム輪の最大寸法(c) ※1 ライナが受口奥部に当たっている事を、4.5mmの隙間ゲージにて確認する。 ※2 接合直後に、現場で明示したマーキング(白線)上に、受口端面があるか確認する。 ※3 屈曲防止リングと押し口外面に薄板ゲージが入らないこと。									

No. _____

NS形継手チェックシート(φ300~φ450)(直管・ライナ使用・異形管)

工事名		呼び径	
直管受口		直管受口(ライナなし)	
異形管受口		異形管受口(ライナあり)	
<p>管 No. _____</p> <p>管の種類 _____</p> <p>略図/ライナ _____</p>			
継手 No.			
清掃			
閉			
受口環(ロックリング)の確認			
ライナ位置の確認(点検)※1			3
押し口の挿入量の明示(白線)			5 9
マーキング(白線)位置の確認※2			5 9
押し口の挿入量チェック(点検)※3			5
バックアップリングの向き※6			7
受口端面～ゴム輪の最大寸法確認			
薄板ゲージの入り込み量 (b)	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
ボルト	数		
	トルクN・m		
押輪～受口端面 間隔※7	①		
	②		
受口端面～白線B 間隔 (a)	①		
	②		
ゴム輪の 出入状況※5	①		
	②		
判定			
備考			
施工日	施工者	現場代理人	
年月日		点検者	

※1 ライナが受口端面に当たっている事を、4.0mmの薄板ゲージを用いて確認する。
 ※2 薄板ゲージに、押し口の白線が当たっている事を、4.0mmの薄板ゲージを用いて確認する。
 ※3 押し口の挿入量を確認し、スキャバジェの外した時、押し口より下の距離に達してはいけないことを確認する。
 ※4 最大挿入量(白線)と受口端面距離が等しいこと(10mm以下)であることを確認する。
 ※5 押し口挿入量に関係のない距離を意味しないことを確認する。
 ※6 バックアップリングの向きは、同一円周上にA、B、Cが同時に存在しないこと。
 ※7 押輪～受口端面間隔(最大値-最小値)≤5mm(同一円周上)。
 ※8 ゴム輪の出入状況(同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと)。

No. _____

様式 21-5

NS形継手チェックシート(φ300~φ450)(直管・ライナ使用・異形管)

工事名		呼び径	
直管受口		直管受口(ライナなし)	
異形管受口		異形管受口(ライナあり)	
<p>管 No. _____</p> <p>管の種類 _____</p> <p>略図/ライナ _____</p>			
継手 No.			
清掃			
閉			
受口環(ロックリング)の確認			
バックアップリングの向き※3			5
受口端面～ゴム輪の最大寸法確認			1
受口端面～ゴム輪 間隔 (b) (mm)	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
ボルト	数		
	トルクN・m		
押輪～受口端面 間隔※4	①		
	②		
受口端面～白線 間隔 (a) (mm)	①		
	②		
ゴム輪の 出入状況※5	①		
	②		
ライナ位置の確認(点検)※1			3
マーキング(白線)位置の確認※2			5 9
判定			
備考			
施工日	施工者	現場代理人	
年月日		点検者	

判定基準：受口端面～ゴム輪間隔(①)＜受口端面～ゴム輪の最大寸法(b)
 ※1 ライナが受口端面に当たっている事を、4.0mmの薄板ゲージにて確認する。
 ※2 薄板ゲージに、押し口の白線が当たっている事を、4.0mmの薄板ゲージを用いて確認する。
 ※3 バックアップリングの向きは、同一円周上にA、B、Cが同時に存在しないこと。
 ※4 押輪～受口端面間隔(最大値-最小値)≤5mm(同一円周上)。
 ※5 ゴム輪の出入状況(同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと)。

No. _____

NS形継ぎ輪・帽チェックシート (φ75～φ450)

工事名		呼び径	
① バックアップリングの向き		② 押輪～受口端面間隔	
③ ゴム輪の出入状況		④ 両挿し口端の間隔 (y1)	
A 5mmを超える場合		B 5mm以下	
C 0mm以下			
管 No. 及び形状		1. 白線表示の位置	
略 図			
清 掃 材		単位mm	
清 剤		呼び径 φ1	
受口溝(ロックリング)の確認		75 105	
バックアップリング向き※1		100 120	
ボルト・ナット	数	150 195	
	トルクN・m	200 195	
押輪～受口端面間隔※4	①	300 230	
	②	350 240	
	③	400 240	
	④	450 245	
ゴム輪の出入状況※5	①	単位mm	
	②	呼び径 φ1	
	③	75 100 150 200 250 300 350 400 450	
	④	75 85 100 150 180 165 165	
両挿し口端の間隔 (y1) ※2	①	3. 挿し口白線Bと受口端面の間隔 (L')	
	②	単位mm	
	③	呼び径 φ1	
	④	75 100 150 200 250 300 350 400 450	
	⑤	75 85 100 150 180 165 165	
	⑥		
	⑦		
受口端面～白線のB間隔 L' ※3	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
判 定			
備 考			
備 考			
施 工 日	施工者	現場代理人	
年 月 日		点 検 者	

判定基準 ① バックアップリングの向き : テーパー部が挿し口端面側にあること。

② 挿し口端面間隔 : 最大値-最小値 ≤ 5mm (同一円周上)

③ 一方からの配管する場合は記入すること。

④ 挿し口端面間隔 : 最大値-最小値 ≤ 5mm (同一円周上)

⑤ ゴム輪の出入状況 : 同一円周上にA、B、CまたはA、B、C同時に存在しないこと。

No. _____

様式 21-6

NS形継ぎ輪・帽チェックシート(φ75～450)

工事名		呼び径	
① バックアップリングの向き		② 押輪～受口端面間隔	
③ ゴム輪の出入状況		④ 両挿し口端の間隔 (y1)	
A 5mmを超える場合		B 5mm以下	
C 0mm以下			
管 No.および形状		1. 白線表示の位置	
略 図			
清 掃 材		単位mm	
清 剤		呼び径 φ1	
受口溝(ロックリング)の確認		75 105	
バックアップリング向き		100 120	
ボルト	数	150 195	
	トルクN・m	200 195	
② ボルト	上	300 230	
	右	350 240	
	下	400 240	
	左	450 245	
③ 挿し口～受口間 隔	上	単位mm	
	右	呼び径 φ1	
	下	75 100 150 200 250 300 350 400 450	
	左	75 85 100 150 180 165 165	
④ ゴム輪の出入状況	上	3. 挿し口白線Bと受口端面の間隔 (L')	
	右	単位mm	
	下	呼び径 φ1	
	左	75 100 150 200 250 300 350 400 450	
	上	75 85 100 150 180 165 165	
	右		
	下		
	左		
⑤ 両挿し口端の間 隔 (y1)	上		
	右		
	下		
	左		
⑥ L' 受口端面～白線の間隔	上		
	右		
	下		
	左		
判 定			
備 考			
備 考			
施 工 日	施工者	現場代理人	
年 月 日		点 検 者	

判定基準 ① バックアップリングの向き : テーパー部が挿し口端面側にあること。

② 挿し口～受口間隔 : 最大値-最小値 ≤ 5mm (同一円周上)

③ ゴム輪の出入状況 : 同一円周上にA、B、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。

④ ⑤は、一方から配管する場合には記入不要。⑥は、せめ配管の場合には記入不要。

No. _____

NS形継手(直管ライナ、異形管)チェックシート(φ500～φ1000)

工事名	呼び径
管No.および種類	
略図 / ライナ	
清掃	
滑剤の塗布	
抜け出しチェック	
受挿し隙間の調整	2
押し込み量(X)の明示	1
押輪分割部の上配置	
バックアップリングの向き、分割部の位置※2	3
押し込み確認※1	1
押輪-受口間隔※3	5
ゴム輪の出入り状態※4	6
ボルト・ナット	4
判定	
備考	
施工日	施工者
年月日	現場代理人
	点検者

- ※1 押し込み確認：現場で明示した位置以上に押し込みがあること。
 ※2 バックアップリングの向き、分割部の位置
 (1)バックアップリングの分割部がゴム輪側にあること。
 (2)バックアップリングの分割部とゴム輪の接触位置が重なっていないこと。
 ※3 押輪-受口間隔：最大値・最小値(±5mm) (同一円周上)
 ※4 ゴム輪の出入り状態
 (1)同一円周上は、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。
 (2)ゴム輪の両側が押輪に乗り上げたためくずれ状態(5%)が存在しないこと。

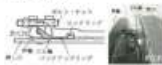


図 継手の写真

様式 21-9

工事名	呼び径
管No.および形状	
略図	
清掃	
滑剤の塗布	
抜け出しチェック	
受挿し隙間の調整	
押輪分割部の上配置	
バックアップリングの向き、分割部の位置	3
押し込み位置の確認	1
押輪-受口間隔	5
ゴム輪の出入り状態	6
ボルト	4
判定	
施工日	施工者
年月日	現場代理人
	点検者


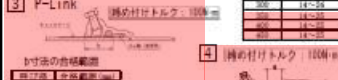



- ※1 押し込み確認：現場で明示した位置以上に押し込みがあること。
 ※2 バックアップリングの向き、分割部の位置
 (1)バックアップリングの分割部がゴム輪側にあること。
 (2)バックアップリングの分割部とゴム輪の接触位置が重なっていないこと。
 ※3 押し込み位置の確認：現場で明示した位置以上に押し込みがあること。
 ※4 押輪-受口間隔：最大値・最小値(±5mm) (同一円周上)
 ※5 ゴム輪の出入り状態
 (1)同一円周上は、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。
 (2)ゴム輪の両側が押輪に乗り上げたためくずれ状態(5%)が存在しないこと。



図 継合不良の例

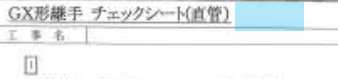


No. _____

GX形継手 チェックシート (直管・P-Link)

工事名		呼び径																															
1 直管		 <table border="1"> <caption>呼び径の合致確認</caption> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>外径</th> <th>内径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>100</td><td>105</td><td>95</td></tr> <tr><td>150</td><td>155</td><td>145</td></tr> <tr><td>200</td><td>205</td><td>195</td></tr> <tr><td>250</td><td>255</td><td>245</td></tr> <tr><td>300</td><td>305</td><td>295</td></tr> <tr><td>350</td><td>355</td><td>345</td></tr> <tr><td>400</td><td>405</td><td>395</td></tr> <tr><td>450</td><td>455</td><td>445</td></tr> <tr><td>500</td><td>505</td><td>495</td></tr> </tbody> </table>		呼び径	外径	内径	100	105	95	150	155	145	200	205	195	250	255	245	300	305	295	350	355	345	400	405	395	450	455	445	500	505	495
呼び径	外径	内径																															
100	105	95																															
150	155	145																															
200	205	195																															
250	255	245																															
300	305	295																															
350	355	345																															
400	405	395																															
450	455	445																															
500	505	495																															
3 P-Link		 <table border="1"> <caption>呼び径の合致確認</caption> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>外径</th> <th>内径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>100</td><td>105</td><td>95</td></tr> <tr><td>150</td><td>155</td><td>145</td></tr> <tr><td>200</td><td>205</td><td>195</td></tr> <tr><td>250</td><td>255</td><td>245</td></tr> <tr><td>300</td><td>305</td><td>295</td></tr> <tr><td>350</td><td>355</td><td>345</td></tr> <tr><td>400</td><td>405</td><td>395</td></tr> <tr><td>450</td><td>455</td><td>445</td></tr> <tr><td>500</td><td>505</td><td>495</td></tr> </tbody> </table>		呼び径	外径	内径	100	105	95	150	155	145	200	205	195	250	255	245	300	305	295	350	355	345	400	405	395	450	455	445	500	505	495
呼び径	外径	内径																															
100	105	95																															
150	155	145																															
200	205	195																															
250	255	245																															
300	305	295																															
350	355	345																															
400	405	395																															
450	455	445																															
500	505	495																															
4 押しの付トルク (目視)																																	
5 (直管押し口を挿入する場合)																																	
6 (異形押し口、P-Linkを挿入する場合)																																	
管 No.																																	
管の種類																																	
略図/ライン																																	
継手 No.																																	
押し口突部の有無																																	
清掃																																	
清刷																																	
押し口の挿入量の明示			4 5																														
受口溝(0.07mm)の確認																																	
爪、押しボルトの確認(P-Link)																																	
挿入量目安線(青線)と受口端面間の確認(異形管押し口)※3			6																														
マーキング(白線)の明示(異形管押し口)※4			6																														
受口端面～ゴム輪間隔(b)※5	①		1 3																														
	②																																
	③																																
	④																																
	⑤																																
	⑥																																
	⑦																																
	⑧																																
受口端面～白線間隔(a)(継手曲角角度の確認)	①		2 4																														
	②																																
	③																																
	④																																
ラインの位置確認(d部)※1			3 6																														
マーキング(白線)位置の確認※2			4 5																														
押しボルトトルク確認	本数		4																														
	判定																																
備考																																	
施工日	施工者	現場代理人																															
年月日		点検者																															

- ※1 ラインが受口端面に付いていることを確認する。
 ※2 挿入量にマーキング(白線)位置が合致している受口端面の位置にあるか確認する。
 ※3 挿入量目安線(青線)と受口端面間の距離が0.07mm以下であるか確認する。
 ※4 押し口外周に受口端面位置の線が書き込まれているか確認する。
 ※5 受口端面～ゴム輪間隔(b)が管の寸法公差以内であることを、また、塗りつぶしてチェックマークがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
 ※6 押し口の挿入量に受口端面間の距離が0.07mm以下であることを確認する。

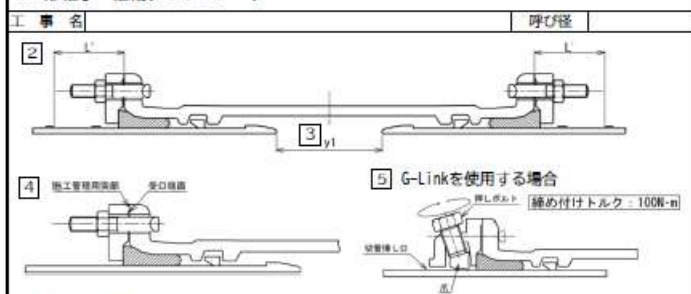
様式 21-11

GX形継手 チェックシート(直管)		様式21-11																															
工事名		呼び径																															
1 直管		 <table border="1"> <caption>呼び径の合致確認</caption> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>外径</th> <th>内径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>100</td><td>105</td><td>95</td></tr> <tr><td>150</td><td>155</td><td>145</td></tr> <tr><td>200</td><td>205</td><td>195</td></tr> <tr><td>250</td><td>255</td><td>245</td></tr> <tr><td>300</td><td>305</td><td>295</td></tr> <tr><td>350</td><td>355</td><td>345</td></tr> <tr><td>400</td><td>405</td><td>395</td></tr> <tr><td>450</td><td>455</td><td>445</td></tr> <tr><td>500</td><td>505</td><td>495</td></tr> </tbody> </table>		呼び径	外径	内径	100	105	95	150	155	145	200	205	195	250	255	245	300	305	295	350	355	345	400	405	395	450	455	445	500	505	495
呼び径	外径	内径																															
100	105	95																															
150	155	145																															
200	205	195																															
250	255	245																															
300	305	295																															
350	355	345																															
400	405	395																															
450	455	445																															
500	505	495																															
2																																	
3																																	
管 No.																																	
管の種類																																	
略図/ライン																																	
継手 No.																																	
押し口突部の有無																																	
清掃																																	
清刷																																	
押し口の挿入量の明示			4																														
受口溝(0.07mm)の確認																																	
受口端面～ゴム輪間隔(b)※5	①		1 3																														
	②																																
	③																																
	④																																
	⑤																																
	⑥																																
	⑦																																
	⑧																																
受口端面～白線間隔(a)	①		2 4																														
	②																																
	③																																
	④																																
ラインの位置確認(d部)※2			3 6																														
マーキング(白線)位置の確認※1			4 5																														
押しボルトトルク確認	本数		4																														
	判定																																
備考																																	
施工日	施工者	現場代理人																															
年月日		点検者																															

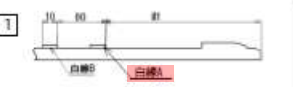
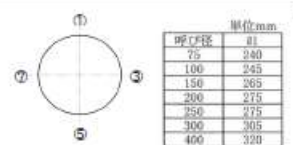
- ※1 受口端面～ゴム輪間隔(b)が管の寸法公差以内であることを、また、塗りつぶしてチェックマークがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
 ※2 ラインが受口端面に付いていることを確認する。
 ※3 挿入量にマーキング(白線)位置が合致している受口端面の位置にあるか確認する。

No. _____

GX形継手 縦軸チェックシート



管 No.			
管の種類			
略図			
継手 No.			
押し口突部の有無 (注1)			
溝			
滑			
滑			
白線A、Bの明示			
受口溝(凹カケ)の確認			
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認			
爪、押しボルトの確認(G-Link)			
スリッパ、ロックリングの確認			
ストップの引抜き			
受口端面～ 白線の間隔(L') (注2)	① ③ ⑤ ⑦		2
両押し口端の間 隔(y1) (注3)	① ③ ⑤ ⑦		3
丁頭ボルト	本数		4
受口端面～ 施工管理用突部 の間隔(注4)	箇所数 除装ゲージ 確認		4
押しボルト	本数 トルク確認		5
判定			
備考			
施工日	施工者	現場代理人	
年月日		点検者	



(1) 一方から順配管していく場合

呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
400	150

(1) せめ配管の場合

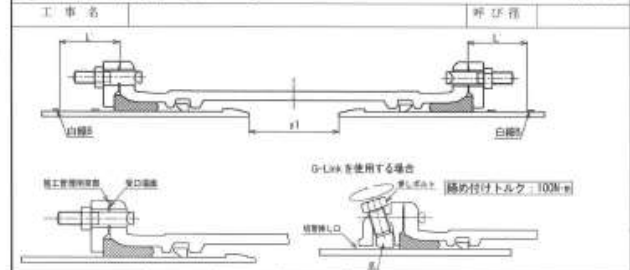
呼び径	y1
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250
300	300
400	300

※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
 注1) 押し口突部のない押し口を異形受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。
 注2) 一方から順配管していく場合には「注4」寸法、せめ配管の場合は「注3」寸法を記入すること。

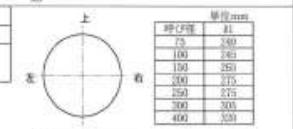
様式 21-13

GX形継手 縦軸チェックシート

様式 21-13



管 No.			
管の種類			
略図			
継手 No.			
押し口突部の有無 (注1)			
溝			
滑			
滑			
白線押し口の白線Bの明示			
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認			
爪、押しボルトの確認(G-Link)			
スリッパ、ロックリングの確認			
受口端面～ 白線の間隔(L') (注2)	上 下 左 右		
両押し口端の間隔(y1) (注3)	上 下 左 右		
丁頭ボルト	本数		
受口端面～ 施工管理用突部の間 隔	箇所数 除装ゲージ 確認		
押しボルト	本数 トルク確認		
判定			
備考			
施工日	施工者	現場代理人	
年月日		点検者	



(1) 一方から順配管していく場合

呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
400	150

(1) せめ配管の場合

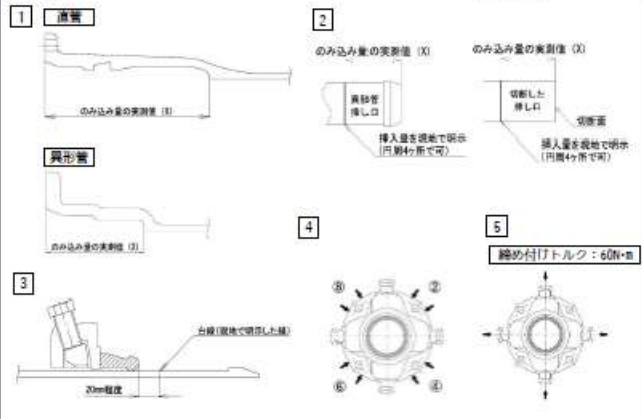
呼び径	y1
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250
300	300
400	300

※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
 注1) 押し口突部のない押し口を異形受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。
 注2) 一方から順配管していく場合には「注4」寸法、せめ配管の場合は「注3」寸法を記入すること。

No. _____

S50形継手 チェックシート (異形管・切管)

工事名 _____ 呼び径 _____



管 No.									
管の種類									
略 図									

継 手 No.										—
押し口突部の有無										—
清 掃										—
清 剤										—
押し口挿入量の明示										1/2
爪、押しボルトの確認										3
ゴム輪、掛け止の押輪の確認										4
T頭ボルト	本数									4
	②									
	④									4
	⑧									
押しボルト	本数									5
	トルク確認									—
判 定										—

備 考 _____

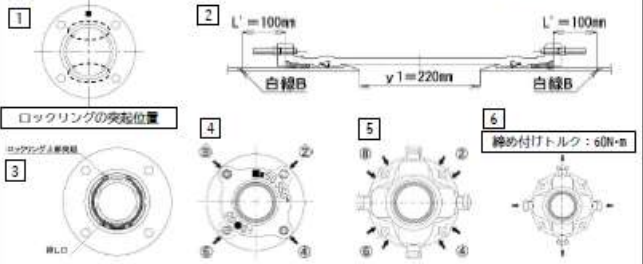
施工日 _____ 施工者 _____ 現場代理人 _____
 年月日 _____ 点 検 者 _____

※ 押しボルトは掛け止の押輪が $\pm 5\text{mm}$ 以上の隙間がないこと。
 確認はT頭ボルト・ナット側の横、いずれか一方で行う。

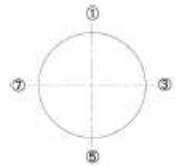
No. _____

S50形継手 チェックシート (継ぎ輪)

工事名 _____ 呼び径 _____



管 No.				
管の種類				
略 図				
継手No.				—
押し口突部の有無 ^{※1)}				—
清 掃				—
滑 動				—
切替押し口の白線Bの明示				2
爪、押しボルトの確認				
ゴム輪 (抜け止め) 挿入の確認				
押し口挿入後のロックリング確認 ^{※1)}				1
受口端面～ 白線の間隔 (L') ^{※2)}	①			
	③			2
	⑤			
	⑦			
両押し口端の 間隔 (y1) ^{※2)}	①			
	③			2
	⑤			
	⑦			
押し口挿入後のロックリング確認 ^{※1)}				3
T鎖ボルト	本数			4 5
	②			
	④			
	⑥			4 5
メタルタッチ 確認 ^{※2)}	④			
	⑥			4 5
	⑧			
	⑩			
押しボルト	本数			6
	トルク確認			
判 定				



備 考 _____

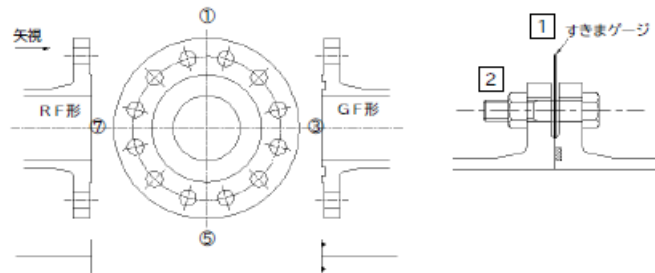
施工日 _____ 施工者 _____ 現場代理人 _____
 年月日 _____ 点 検 者 _____

※1) ロックリングが正位置の位置にあるが確認する。
 ※2) 受口端面と押入部の間に0.5mm以上の隙間がないこと。
 注1) 押し口突部の無い押し口を接合する場合は、抜け止め押入部を使用すること。
 注2) 一方から順次配置していく場合には、寸法、締め配管の場合はy1寸法を記入すること。

No. _____

溝形フランジ継手接合 チェックシート (メタルタッチの場合)

工事名 _____ 呼び径 _____



管 No.							
管の種類							
略 図							
継手 No.							
清 掃							
接着剤使用の有無							
隙間ゲージ (0.5mm厚) によるチェック	①						1
	③						
	⑤						
	⑦						
ボルト	数						2
	トルク						
判 定							
備考							
施工日	施工者			現場代理人			
年月日				点検者			

判定基準 ①すきまゲージによるチェック : フランジ面間に1mm厚のすきまゲージが入らないこと。
 ②ボルトの締め付けトルク : 60N・m以上

No. _____

溝形フランジ継手接合 チェックシート (メタルタッチでない場合)

工 事 名	呼び径	
-------	-----	--

メタルタッチでない溝形フランジの標準間隔

呼び径(mm)	標準間隔	
	下限	上限
75~900	9.5	4.5
1000~1500	4.5	6.0
1600~2400	6.0	8.0
2900	7.5	9.5

(注) 標準間隔は上図の寸法をいう。

管 No.							
管の種類							
略 図							

継 手 No.							
溝 掃							
接着剤使用の有無							
隙間ゲージ (上・下限用) によるチェック	①						1
	②						
	③						
	④						
ボルト	数						2
	ゆるみ チェック						
判 定							

備 考

施工日	施工者	現場代理人	
年月日		点 検 者	

検査基準 ①すきまゲージによるチェック : 側にある上側のすきまゲージが挿入できないで、下側のすきまゲージが挿入できること。
 ②ボルトのゆるみチェック : 容易にゆるまないこと。

No. _____

E F 接合チェックシート									
工事名								呼び径	
発電機の機種名				コントローラの機種名					
正常作動確認	正常 (100V~110V) ・異常			正常作動確認	正常 (1F表示なし) ・異常				
継手 No.									
略図									
天気									
融着	点検・清掃								
	切削長さのマーキング								
	融着面の切削								
	融着面の清掃								
	挿入標線の記入 管と継手の挿入・固定								
検査	正常終了の確認	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異
	通電終了時刻	:	:	:	:	:	:	:	:
冷却	冷却時間								
	固定の解除時刻								
接合総合判定									
備考									
施工日	施工者			現場代理人					
年月日				点検者					

年 月 日

水 圧 試 験 報 告 書	
契約番号 工 事 名	第 号
受注者名	受注者 (現場代理人)
対象施設概要	管種 口径 mm 延長 m
測定日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分 (保持時間 分)
試験水圧	MPa
試験結果	初期水圧 Mpa 最終水圧 Mpa 合・否
測定者	
立会者	

水圧チャート

※試験区間の図面を添付

様式 22

年 月 日

水 圧 試 験 報 告 書	
契約番号・工事名	契約 第 号
受注者名	受注者 (現場代理人)
対象施設概要	管種 口径 mm 延長 m
測定日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分 (保持時間 分)
試験水圧	MPa
試験結果	初期水圧 MPa 最終水圧 MPa 合・否
測定者	
立会者	
水圧チャート	*試験区間の図面を添付

年 月 日

水質試験報告書	
契約番号 工事名	第 号
受注者名	受注者 (現場代理人)
対象施設概要	管種 口径 mm 延長 m
検査月日	年 月 日
測定場所	
残留塩素	mg/l
P H 値	
濁 度	
測定者	
立会者	
備 考	

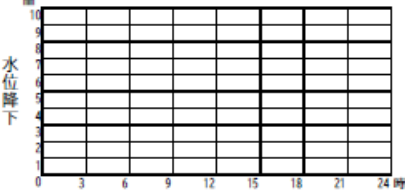
様式 23

年 月 日

水質試験報告書	
契約番号・工事名	契約 第 号
受注者名	受注者 (現場代理人)
対象施設概要	管種 口径 mm 延長 m
検査月日	年 月 日
測定場所	
残留塩素	mg/l
P H 値	
濁 度	
測定者氏名	
立会者氏名	
備 考	

年 月 日

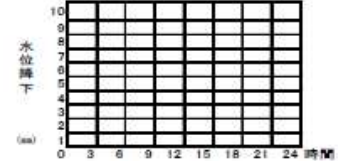
漏水試験報告書

契約番号	第 号
工事名	
受注者名	受注者 (現場代理人)
対象施設概要	
試験日時	年 月 日 時 ~ 年 月 日 時
漏水確認方法	(外壁面の肉眼観察) (水位測定)
漏水状況	(別添図)  確認 監督員
漏水量算定	充水後24時間経過して水位がH ₁ mからH ₂ mに降下した。 漏水量は $Q = \frac{A m^2 (\text{水面積}) \times (H_1 - H_2) m}{24 \text{ hr}}$ $= X m^3 / \text{hr} \text{である。}$
備考	

様式 25

年 月 日

漏水試験報告書

契約番号・工事名	契約 第 号
受注者名	受注者 (現場代理人)
対象施設概要	
試験日時	年 月 日 時 ~ 年 月 日 時
漏水確認方法	(外壁面の肉眼観察) (水位測定)
漏水状況	(別添図)  監督員 確認 印
漏水量算定	充水後 24 時間経過して水位が H ₁ m から H ₂ m に降下した。 漏水量は $Q = \frac{A m^2 (\text{水面積}) \times (H_1 - H_2) m}{24 \text{ hr}}$ $= X m^3 / \text{hr} \text{である。}$
備考	

第1号様式(第10条関係)

下 請 通 知 書

様式 3-1

年 月 日

福島市水道事業管理者
様

所 在 地
商 号 又 は 名 称
代 表 者

印

工事名		契約年月日		年 月 日		
受 注 元 請 負 人	商号又は名称					
	代 表 者					
	下請指導責任者					
	請 負 金 額				以上の元請 の 番 号	
下 請	商号又は名称					
	代 表 者					
	所 在 地					
	2 予定工事期間					
	工事種類及び内容	得意代理人				
		下請契約金額				
負 人	商号又は名称					
	代 表 者					
	所 在 地					
	3 予定工事期間					
	工事種類及び内容	得意代理人				
		下請契約金額				
4	商号又は名称					
	代 表 者					
	所 在 地					
	予定工事期間					
	工事種類及び内容	得意代理人				
下請契約金額						
備 考	局 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	監 督 員

様式第1号

様式 3-1-1

下請工事契約時チェックリスト

年 月 日

(見積工数20152種)

商号・名称

代 表 者

契約相手方（下請）の商号・名称	
-----------------	--

項 目	はい	いいえ
1 一括下請発注は行っていない。		
2 特定建設業の許可を有する場合を除き、4,000万円（建築一式工事の場合は6,000万円）を超える金額の下請発注は行っていない。		
3 下請金額が500万円未満（建築一式工事の場合は1,500万円未満又は延べ床面積が150㎡未満の木造住宅工事）の場合を除き、建設業の許可を受けていない者への下請発注は行っていない。		
4 建設業法による営業停止処分を受けている者又は局から入札参加制限措置を受けている者への下請は行っていない。		
5 下請は、社会保険等加入者(加入義務のない者を含む)である。(やむを得ず未加入者を下請とした場合は、理由書を自らの元請を通じて局から直接工事を請け負った元請に提出し確認を受けるとともに、当該未加入の下請けに対して、速やかな加入を繰り返し指導する)		
6 契約に先立ち、下請から、法延福利費の額を明示した見積書を徴している。		
7 見積依頼時に、下請に対し当該下請契約に関する事項（工事内容、工期、契約条件（代金の支払時期・方法など））について、できる限り具体的な内容を提示している。		
8 上記⑦の内容提示から下請契約締結までに、下請が当該工事の見積りをするために必要な下記の期間を設けている。 ※見積りに必要な期間 ・見積額が50万円以下の工事 1日以上 ・見積額が50万円以上500万円以下の工事 10日以上（代金請求準備期間5日含む） ・見積額が500万円以上の工事 15日以上（代金請求準備期間5日含む）		
9 自己の取引上の地位を利用して、下請契約の金額を、施行しようとする工事に係る標準的な単価に基づく直接工事費、現場管理費等の間接工事費及び一般管理費を合計したものに満たない金額とした事実はない。		
10 下請工事の開始に先立って下請契約書を取り交わしている。		

項 目		はい	いいえ
11	下請契約書には下記の事項を記載している。		
	① 工事内容		
	② 請負代金の額(請負代金内訳書に内書きするなどして、法定福利費の額を明示のこと)		
	③ 工事着手の時期及び工事完成の時期		
	④ 請負代金の全部又は一部の前金払又は出来形部分に対する支払の定めをするときは、その支払の時期及び方法		
	⑤ 当事者の一方から設計変更又は工事着手の延期若しくは工事の全部若しくは一部の中止の申出があった場合における工期の変更、請負代金の額の変更又は損害の負担及びそれらの額の算定方法に関する定め		
	⑥ 天災その他不可抗力による工期の変更又は損害の負担及びその額の算定方法に関する定め		
	⑦ 価格等の変動若しくは変更に基づく請負代金の額又は工事内容の変更		
	⑧ 工事の施工により第三者が損害を受けた場合における賠償金の負担に関する定め		
	⑨ 注文者が工事に使用する資材を提供し、又は建設機械その他の機械を貸与するときは、その内容及び方法に関する定め		
	⑩ 注文者が工事の全部又は一部の完成を確認するための検査の時期及び方法並びに引渡し時期		
	⑪ 工事完成後における請負代金の支払の時期及び方法		
	⑫ 工事の目的物の瑕疵を担保すべき責任又は当該責任の履行に関して請うべき保証保険契約の締結その他の措置に関する定めをするときは、その内容		
	⑬ 各当事者の履行の遅滞その他の債務の不履行の場合における遅延利息、違約金その他の損害金		
	⑭ 契約に関する紛争の解決方法		
	⑮ 「請負人は福島市水道局元請・下請関係適正化指導要綱を遵守するとともに、工事の一部を他人に請け負わせる場合は請け負わせた者に同要綱の規定を遵守するよう指導しなければならない」という条項		
12	その他、法令や福島市水道局元請・下請適正化指導要綱に抵触する事実はない。		

【記入上の注意】

- 1 局発注工事に係る全ての下請契約締結時(※1、2)に、各々の元請(※3)が自ら下請発注した工事について上記の項目を確認すること。
- 2 局から直接工事を請け負った元請は、当該工事の全ての下請契約(※1)に係る契約書の写し及び本チェックリストを取りまとめの上、施工体制台帳提出時(変更時も含む)に局に提出すること。
- 3 「いいえ」の欄に該当がある場合は、法令等に違反しているおそれがあるので、直ちに改善すること。

※1 「全ての下請契約」には2次下請以降における下請契約も含む。
 ※2 「下請契約締結時」には変更契約締結時も含む。
 ※3 「各々の元請」には局から直接工事を請け負った元請だけでなく、2次下請以降におけるそれぞれの元請も含む。(例えば2次下請契約においては1次下請人が元請、2次下請人が下請である。)

元請・下請関係者一覧表

工 事 名		契約年月日		年 月 日		
受 注 元 請 人	番 号 1	商号又は名称				
		代 表 者				
		下請指導責任者				
		請 負 金 額				
					以上の 元請の 番 号	
下	番 号 2	商号又は名称				
		代 表 者				
		所 在 地				
		予定工事期間				
		工事種類及び内容	現場代理人			
請 負	番 号 3	商号又は名称				
		代 表 者				
		所 在 地				
		予定工事期間				
		工事種類及び内容	現場代理人			
人	番 号 4	商号又は名称				
		代 表 者				
		所 在 地				
		予定工事期間				
		工事種類及び内容	現場代理人			

下請負報告書

福島市水道事業管理者
様

年 月 日

(請負者) 所在地
名 称
代表者

印

1. 局工事請負契約の状況

契約番号	工 期	請負金額受領状況			
		月日	金 額	月日	金 額
工事名又は 事業名	工事種別				
路河川名	工事箇所				
契約額					
					発注課等

2. 下請発注の状況

元 請 箇名・名称	代表者	所在地			
下 請 〃	〃	〃			
契約月日	契約書 等の有無	契約書	代 金 支 払 状 況		
工 期	有	下請基本契約書 注 文 書	月日	金 額	現金手形の別
金 額	**	注 文 書			月日
工 種	無	無			金 額
完 成	月 日	検 査	月 日	引 渡 し	月 日

元 請 箇名・名称	代表者	所在地			
下 請 〃	〃	〃			
契約月日	契約書 等の有無	契約書	代 金 支 払 状 況		
工 期	有	下請基本契約書 注 文 書	月日	金 額	現金手形の別
金 額	**	注 文 書			月日
工 種	無	無			金 額
完 成	月 日	検 査	月 日	引 渡 し	月 日

元 請 箇名・名称	代表者	所在地			
下 請 〃	〃	〃			
契約月日	契約書 等の有無	契約書	代 金 支 払 状 況		
工 期	有	下請基本契約書 注 文 書	月日	金 額	現金手形の別
金 額	**	注 文 書			月日
工 種	無	無			金 額
完 成	月 日	検 査	月 日	引 渡 し	月 日

【記入上の注意】
全ての下請（2次下請以降も含む。）
について記載する。

課 長	次 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	監 査 員

様式第2号

下請工事完了後チェックリスト

様式3-3-1

年 月 日

(発注元) 元請
商号・名称
代 表 者

契約相手方（下請）の商号・名称	
-----------------	--

	項 目	は い	いいえ
1	下請への支払いは契約書に従い適切に行った。		
2	完成検査は、下請からの完成通知後20日以内に実施した。		
3	完成検査終了後、直ちに下請から工事目的物の引渡しを受けた。		
4	下請への代金支払いは、注文書から請負代金の部分払又は工事完了後における支払を受けたときから1か月以内に行った。 ただし、自身が特定建設業者であり、下請が一般建設業者かつ資本金4,000万円未満である場合は、上記にかかわらず、下請から引渡しの申し出を受けた日から50日以内に代金の支払いを行った。		
5	下請への代金支払いに手形払を併用する場合、手形期間は90日以内（事情がある場合でも120日以内）とした。	90日請	
		120日請	
6	その他、法令や福島市水道局元請・下請適正化指導要綱に抵触する事実はなかった。		

【記入上の注意】

- 1 前発注工事に係る全ての下請契約（※1）について、各々の元請（※2）が自ら下請発注した工事の完了後に、上記の項目を確認すること。
- 2 局から直接工事を請け負った元請は、当該工事の全ての下請契約（※1）に係る本チェックリストを取りまとめの上、下請負報告書提出時に単に提出すること。
- 3 「いいえ」の欄に該当がある場合は、法令等に違反しているおそれがあるので、直ちに改善すること。

※1 「全ての下請契約」には2次下請以降における下請契約も含む。

※2 「各々の元請」には局から直接工事を請け負った元請だけでなく、2次下請以降におけるそれぞれの元請も含む。（例えば2次下請契約においては1次下請人が元請、2次下請人が下請である。）

様式 4-2
第 号
年 月 日

受注者

様

福島市水道事業管理者

監督員変更通知書

平成 年 月 日付けをもって請負契約を締結した次の工事について、福島市水道局工事請負契約約款第 10 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり監督員を変更したので通知します。

契約 第 号

工 事 名

工 事 場 所

記

変 更 前 監督員 (職 氏 名)

変 更 後 監督員 (職 氏 名)

工事打合せ簿

発注者	<input type="checkbox"/> 発注者 <input type="checkbox"/> 受注者	発注年月日	年 月 日
発注者名			
発注事項	<input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他 ()		
工事設計 工事名	第 号	工事	
工事場所			
(内容)			
協議回答希望期限(受注者記入欄) 年 月 日			
添付図 業、その他添付図書			
処理	発注者	上記について <input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 受理 <input type="checkbox"/> その他 します。 <small>指示事項・協議結果等</small>	
	監督員	年 月 日	
回答	受注者	上記について <input type="checkbox"/> 了解 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他 します。 <small>提出・報告内容等</small>	
	現場代理人	会社	年 月 日

課長	課長補佐	係長	係員	監督員	現場代理人	主任(監理)技術者

様式 8

年 月 日

福島市水道事業管理者
様

受注者住所

氏名
(現場代理人)

⑩
⑩

施 工 計 画 書

下記の工事について別紙のとおり施工計画書を作成したので提出します。

記

契約 第 号

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

様式 11

課長	課長補佐	係長	係員

確 認 書

確認・立会願

年 月 日

下記について確認・立会を願いたい。

受注業者名
現場代理人名

工事名	第	号	工事
工事場所			
事 項	位 置 等		

確認・立会結果書

上記について、確認・立会を実施し確認した。

立会者名

印

確認・立会年月日	年 月 日
方法	現 地 ・ 書 類 (机上)
結果判定	
指示事項 (記事)	

指示事項等処置完了確認

年 月 日

監督員

印

工事目的物引渡書

局長	次長	課長	課長補佐	係長	係員

福島市水道事業管理者	年 月 日
様	
受注者 住所	_____
氏名	_____ 印
下記のとおり工事が完成しましたので引き渡します。	

契約番号	契約第 号
工事名	
工事場所	
工事数量	
工 期	(着工) 年 月 日 (完成) 年 月 日
完成年月日	年 月 日
請 負 金 額	うち取引に係る消費税 及び地方消費税の額
検査年月日	年 月 日

局長	次長	営業企画課長	技術管理課長	検査員	
		課長	課長補佐	係長	係員

年 月 日

部分払請求書

福島市水道事業管理者

様

住 所 _____

受注者

氏 名 _____ 殿

下記工事については、年 月 日着工以来、工事の進捗に努力してまいりましたが、資金調達のため工事請負契約書に定める出来高に応じた中間金を受けたいので、検査くださるよう請求します。

記

1. 契約番号 契約第 _____ 号
2. 工事名 _____
3. 請負金額 _____
4. 契約年月日 _____ 年 月 日
5. 請求額 _____

上記工事の出来高検査を命ずる。

_____ 印

_____ 課 検査員 職氏名 _____

様式 26

年 月 日

消毒経過報告書

契約番号・工事名	契約 第 号																																																										
受注者名	受注者 (現場代理人) 印																																																										
対象施設概要																																																											
消毒作業日時	年 月 日 時 ~ 年 月 日 時																																																										
測定器具	残留塩素																																																										
	PH値																																																										
流入水の水質	残留塩素濃度	PH値	臭気																																																								
測定結果	残留 mg/l																																																										
	<table border="1"><tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>0</td><td>3</td><td>6</td><td>9</td><td>12</td><td>15</td><td>18</td><td>21</td><td>24 時間</td></tr></table>			10								8								6								4								2								0								0	3	6	9	12	15	18	21
10																																																											
8																																																											
6																																																											
4																																																											
2																																																											
0																																																											
0	3	6	9	12	15	18	21	24 時間																																																			
	監督員 確認 印																																																										
考 察																																																											
消毒効果	良好・不良																																																										

建設産業廃棄物処理結果報告書

年 月 日

福島市水道局事業管理者

様

住所
受注者

氏名 印

平成 年 月 日契約の 工事により発生した建設産業廃棄物については、下記により適正に処理したので、仕様書第 122 条により報告します。

記

1. 工事概要

- (1) 契約番号 第 号
- (2) 工期 年 月 日 ~ 年 月 日
- (3) 工事場所
- (4) 請負金額

2. 処理結果

番号	廃材の種類	数量 (1)	単位	処理方法 (2)	処理施設名称 処理施設所在地	運搬距離 (3)	備考
①			t m ³	最終,中間 自社,再利用			
②			t m ³	最終,中間 自社,再利用			
③			t m ³	最終,中間 自社,再利用			
④			t m ³	最終,中間 自社,再利用			

- 注) (1) 該当する単位名の個所を○印で囲むこと。
 (2) 該当する処理方法の個所を○印で囲むこと。(最終：最終埋立処分、中間：中間処理処分、自社：自社処分とする。)
 (3) 発生現場から処理施設までの運搬距離を記入すること。ただし再利用の場合は、再利用する場所までの距離とする。
 (4) 完成検査時(写し)1部を検査員に提出するものとする。

局長	次長	課長	課長補佐	係長	係員

着 手 届

年 月 日

福島市水道事業管理者 様

住所
受注者 氏名 ㊟

下記委託を着手したので、お届けいたします。

契約番号	契約 第 号
委 託 名	
契約金額	¥ _____ <small>うち取引に係る消費税及び地方消費税の額</small> ¥ _____
委託期間	着 手 年 月 日 履行期限 年 月 日
着手年月日	年 月 日

様式 29

第 号
年 月 日

受注者 様

福島市水道事業管理者

監督員通知書

年 月 日付けをもって請負契約を締結した次の委託について、福島市水道局工事請負契約約款第 10 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり監督員を通知します。

契約 第 号

委 託 名 _____

委 託 場 所 _____

記

監 督 員 (職氏名) _____

様式 30

第 号
年 月 日

受注者 様

福島市水道事業管理者

監督員変更通知書

年 月 日付けをもって請負契約を締結した次の委託について、福島市水道局工事請負契約約款第 10 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり監督員を変更したので通知します。

契約 第 号

委 託 名 _____

委 託 場 所 _____

記

変 更 前 _____

変 更 後 _____

委託打合せ簿

発注者	<input type="checkbox"/> 発注書 <input type="checkbox"/> 受注書	発注年月日	年 月 日
発注者名			
発注事項	<input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託番号 委託名	第 号		工事
委託場所			
(内容)			
添付図 業、その他添付図書			
起 理	発注者	上記について <input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 受領 <input type="checkbox"/> その他 します。 (指示事項・協議結果等)	
	監督員	年 月 日	
回 答	受注者	上記について <input type="checkbox"/> 了解 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他 します。 (費用・報告内容等)	
	現場代理人	会社	年 月 日

課長	課長補佐	係長	係員	監督員

現場代理人	主任(監理)技術者

課長	課長補佐	係長	係員

確 認 書

確 認 ・ 立 会 願

年 月 日

下記について確認・立会を願いたい。

受 注 者
現場代理人名

委託名	第 号	工事
委託場所		
事 項	位 置 等	

確 認 ・ 立 会 結 果 書

上記について、確認・立会を実施し確認した。

立会者名

印

確認・立会年月日	年 月 日
方法	現 地 ・ 書 類 (机上)
結果判定	
指示事項 (記事)	

指示事項等処置完了確認 年 月 日 監督員

印

年 月 日

福島市水道事業管理者
様

受注者 住 所

氏 名 ①

現場代理人及び主任技術者等通知

契約番号 _____

委 託 名 _____

委 託 場 所 _____

年 月 日契約の上記委託について、現場代理人及び主任技術者等を下記のとおり定めたので通知します。

記

現場代理人 _____

主任技術者 _____

年 月 日

福島市水道事業管理者
様

受注者 住 所

氏 名 印

現場代理人及び主任技術者等変更届

次のとおり変更したのでお届けします。

契約番号 _____

委託名 _____

委託場所 _____

現場代理人 変更前 氏名 _____

変更後 氏名 _____

主任技術者 変更前 氏名 _____

変更後 氏名 _____

(注) 経歴書を添付すること。

様式 35

年 月 日

福島市水道事業管理者
様

受注者 住 所

(現業代理人) 氏 名 印

委 託 業 務 計 画 書

下記の委託について別紙のとおり委託業務計画書を作成したので提出します。

記

契約 第 号

1. 委 託 名

2. 委 託 場 所

年 月 日

福島市水道事業管理者
様

受注者 住 所

氏 名

印

委託契約期間延期申請書

次の委託について、下記のとおり契約期間延期を申請します。

契約 第 号

1. 委 託 名

2. 委 託 場 所

3. 委 託 期 間
着 手 年 月 日
履行期限 年 月 日

記

1. 延長年月日 年 月 日

2. 理 由

(注) 理由は、具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること。

様式第11号(第13条関係)

委 託 完 成 届

局長	次長	課長	課長補佐	係長	係員

年 月 日

福島市水道事業管理者

様

住所

受注者

氏名

印

年 月 日 契約の委託は、今回完成したので届け出ます。

契約番号 契約第 号

委託名

委託場所

契約金額 ￥ 100万円未満の場合 円 100万円以上の場合

委託期間 (着手) 年 月 日 (履行期限) 年 月 日

完成年月日 年 月 日

委 託 の 完 成 検 査 員 命 令

局長	次長	営業企画課長	技術管理室長	主任検査員	検査員

年 月 日

上記の当該委託契約に係る履行の完了確認のため、検査を命ずる。

印

課

検査員 職氏名

委 託 月 報

課 長	課長補佐	係 長	係 員	監督員

No. _____

受注者
(現場代理人) _____ 印

委 託 名		進捗率	
		計画	%
委託期間		実績	%
当該月	年 月		
作業内容			
打合せ事項			
その他			

※ 業務等で必要な欄合使用。

年 月 日

施 工 体 制 台 帳

[企 社 名]

[事 業 所 名]

建設業の 許 可	許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	工事業	大匠 特定 知事 一般 第 号	年 月 日
	工事業	大匠 特定 知事 一般	年 月 日

契約番号	第 号
工事名称 及 工事内容	
発注者名 及 住 所	〒
工 期	自 年 月 日 契約日 年 月 日

契約 営業所	区分	名 称	住 所
	元請契約		
	下請契約		

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入	加入	未加入	加入	未加入
	事業所管理 記号等	区分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		元請契約					
		下請契約					

発注者の 監督員名	権限及び 見申出方法
--------------	---------------

監 費 員 名	権限及び 見申出方法
---------	---------------

現 場 代 理 人	権限及び 見申出方法
--------------	---------------

監理技術者 主任技術者 専任	資格内容
----------------------	------

専 門 技 術 者 名	専 門 技 術 者 名
----------------	----------------

職 務 内 容	職 務 内 容
担 当	担 当
工 事 内 容	工 事 内 容

外国人建設従事者の 従事状況(有無)	有 無	外国人技術実習生の 従事状況(有無)	有 無
-----------------------	-----	-----------------------	-----

【記入要領】

1. 上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載のある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
2. 監理技術者または主任技術者の配置状況について「専任・非専任」のいずれかに○印を付けること。
3. 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。（監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。）

【元請業者の健康保険等の加入状況について】

4. 各保険の適用を受ける営業所について届出を行っている場合には「加入」、行っていない場合は「未加入」、従業員規模等により各保険の適用が除外される場合は「適用除外」を○で囲むこと。
 5. 元請契約に係る営業所の名称及び下請契約に係る営業所の名称をそれぞれ記載する。
 6. 事業所整理記号及び事業所番号（健康保険組合にあっては組合名）を記載する。一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を記載する。
 7. 事業所整理記号及び事業所番号を記載する。一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を記載する。
 8. 労働保険番号を記載する。継続事業の一部の認可に係る営業所の場合は、本店の労働保険番号を記載する。
- ※ 5～8については元請契約に係る営業所で下請契約を行なう場合は下請契約の欄に「同上」と記載する。

【注意事項】

1. 全ての1次下請契約について記載するとともに、契約書及び工事担当技術者台帳（参考様式第2号）を添付すること。（2次下請以降は再下請負通知書を使用する。）
2. 施工体制台帳は、建設業法施行規則第14条の2に規定する記載事項を満たすものであれば、様式は用いない。
3. 監理技術者及び専門技術者について次のものを添付すること。
 - ①資格を証するものの写し ②自社従業員である証明書類の写し（従業員証、健康保険証など）
4. 記載の對象は建設工事であるため、建設工事以外の契約（資材購入、機設備借、運送など）については記載不要。

《下請負人に関する事項》

会社名	代表者名
住所 〒 電話番号 （電線）	
契約書別冊 工事名称及び 工事内容	下請契約金額
工期 日 年 月 日 至 日 年 月 日	契約日 年 月 日

建設業の 作 業 可	施工に必要な許可業種	対 番 号	許可(更新)年月日
	工事業	大田 特定 知事 一給 番 号	年 月 日
	工事業	大田 特定 知事 一給 番 号	年 月 日

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無 （適用除外 ありなし）	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入 （適用除外あり）	未加入 （適用除外あり）	加入 （適用除外あり）	未加入 （適用除外あり）	加入 （適用除外あり）	未加入 （適用除外あり）
	事業所 登録記号等	事業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		

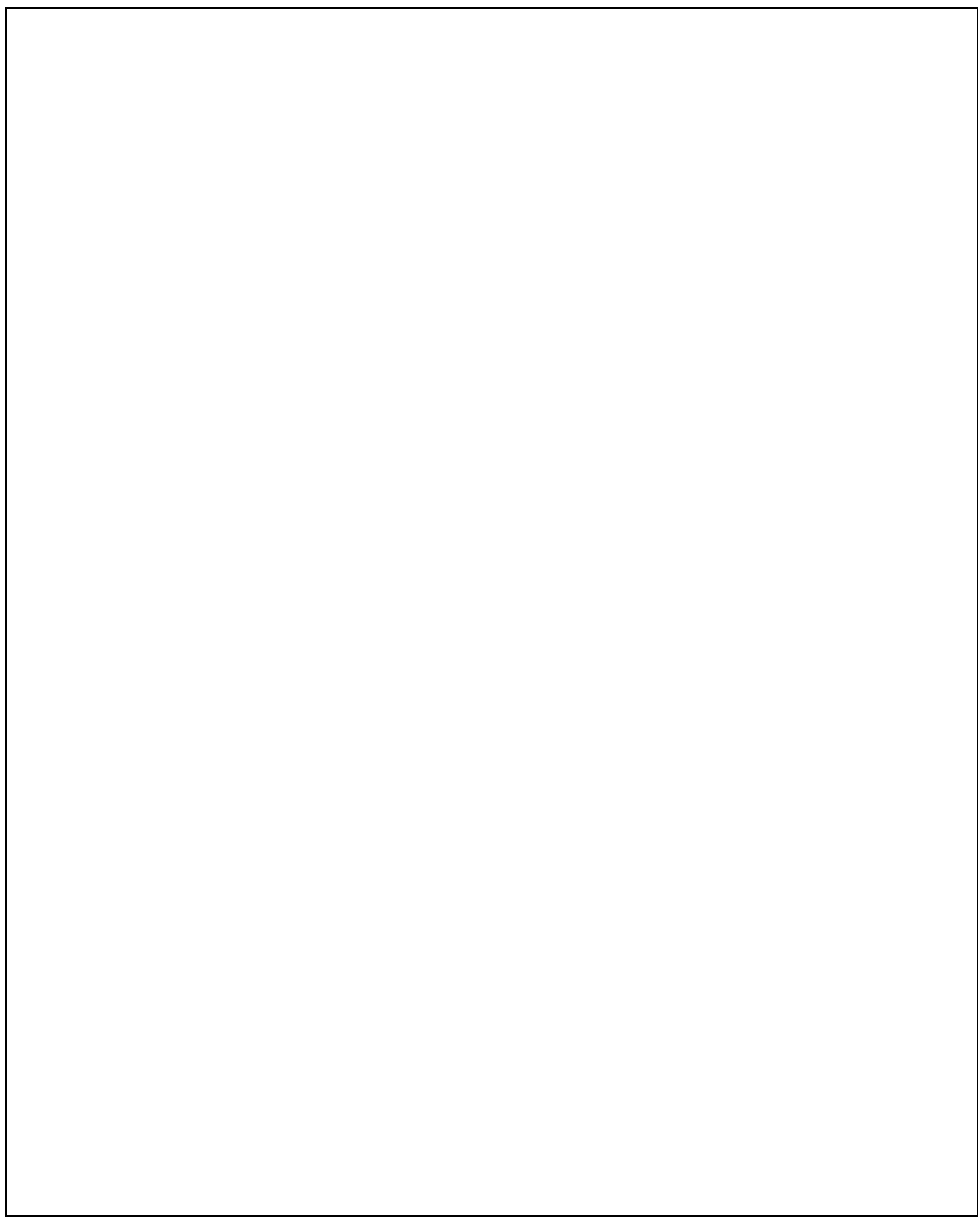
現場代理人名	安全衛生責任者名
職 種 及 び 選 任 申 出 方 法	安全衛生監事者名
主任技術者名 専 任 非常任	雇用管理責任者名
資格内容	専 門 技 術 者 名
	資 格 内 容
	担 当 工 事 内 容

外国人建設就労者の 従事状況(有無)	有 無	外国人技術実習生の 従事状況(有無)	有 無
-----------------------	-----	-----------------------	-----

※ [主任技術者、専門技術者の記入要領]

- 主任技術者の雇用状況について「専任・非常任」のいずれかに○印を付すこと。
- 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工の場合等での工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。
(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
(複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を必要とする場合は適宜欄を設けて全員を記載する。)
- 主任技術者の資格内容（該当するものを記入して記入する）
① 経歴年数による組合

- 1) 大学卒(新卒学科) 3年以上の実務経験
- 2) 高校卒(新卒学科) 5年以上の実務経験
- 3) その他 10年以上の実務経験
- ② 資格等による組合
1) 建設業法「技術検定」
2) 建設業法「建設士試験」
3) 技術士法「技術士試験」
4) 電気工事士法「電気工事士試験」
5) 電気事業法「電気主任技術者国家試験等」
6) 消防法「消防設備士試験」
7) 職業能力開発促進法「技能検定」
- 4 記載の対象は建設工事であるため、建設工事以外の契約（貸付購入、機器賃貸、運送など）については記載不要。
- 5 詳細は、別の同業種（参考様式第0号の2）を参照のこと。



※ 納付金の請求書		工業用器具請求書				領収証	
請求者 請求者代表 請求者住所 請求者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印
受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印	受領者 受領者代表 受領者住所 受領者印

【注意事項】

- ※ 領付金の請求書は、請求書の次頁とし、請求の内訳を記載する必要があります。
- ※ 請求は、領工用器具の標準上とする。
- ※ 本請求書は、納付金として、請求書に添付して提出してください。

【報告下請負業者】

直近上位の
注文者名 _____ 住 所 _____

元請名称
（開から工事名称
が来った名称） _____ TEL _____
FAX _____

会 社 名 _____

代表者名 _____ 印

《自社に関する事項》

工 事 名 称 及 工 事 内 容			
工 期	自 年 月 日 至 年 月 日	注文者との 契約日	年 月 日

建 設 業 の 許 可	施工に必要な許可業種	許 可 番 号	許可（更新）年月日
	工事業	大田 県定（-）第 号 知事 一 般	年 月 日
	工事業	大田 県定（-）第 号 知事 一 般	年 月 日

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無	健康保険	厚生年金保険	雇用保険
		加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外
	事業所 管理記号等	事業所の名称	健康保険	厚生年金保険
				雇用保険

監 督 員 名		安全衛生責任者名	
権限及び 意見申出方法		安全衛生推進者名	
現 場 代 理 人 名		雇用管理責任者名	
権限及び 意見申出方法		専 門 技 術 者 名	
主任技術者名	専 任 兼専任	資 格 内 容	
資 格 内 容		担当工事内容	

外国人建設就労者の 従事の状況(有無)	有 無	外国人技術実習生の 従事の状況(有無)	有 無
------------------------	-----	------------------------	-----

(記入要領)

様式40-3

1. 再下請負業者は直近上段の注文者に届出すること。
 2. 再下請負契約がある場合は《再下請負関係》欄を記入するとともに、次の契約関係の写しを提出する。
ただし、再下請負が複数ある場合は、《再下請負関係》欄をコピーして使用する。
①契約書、注文書・請書等 ②下請基本契約書
 3. 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から届出された書類とともに下請負業者届出表を作成の上、元請に届出ること。
 4. この届出事項に変更があった場合は直ちに再届出すること。
- 【請負関係等の加入状況について】
5. 各業種の適用を受ける営業所について届出を行っている場合には「加入」、行っていない場合（適用を受ける営業所が複数あり、そのうち一部について行っていない場合を含む）は「未加入」、従業員規模等により各業種の適用が除外される場合は「適用除外」を○で囲むこと。
 6. 請負契約に係る営業所の名称を記載する。
 7. 事業所登録記号及び事業所番号（健康保険組合によっては組合名）を記載する。一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の登録記号及び事業所番号を記載する。
 8. 事業所登録記号及び事業所番号を記載する。一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の登録記号及び事業所番号を記載する。
 9. 労働保険番号を記載する。健康保険の一切の認可に係る営業所の場合は、本店の労働保険番号を記載する。
- ※ 5～9については、直近上段の注文者との請負契約に係る営業所以外の営業所で再下請負業者との請負契約を代行する場合に同欄を追加すること。

